

「アートアーバニズム」の理念

「アートアーバニズム」とは

「アートアーバニズム」は、「アート」と「アーバニズム」を組み合わせた、新たな造語です。都市における生活様式の中に「アート」という創造的で感性的な領域が融合することで、多様・多能な人々の交流から共感を生み出し、これをベースとして、持続するクリエイティブな都市活動を展開するものです。

「アートアーバニズム」とは、アートを都市生活の中に浸透させていく活動ですが、既にある「アートのあるまちづくり」や「アートによるまちの活性化」のように、単にアート作品やコンテンツを取り込むことだけに留まりません。

都市における様々な活動にアートが参画し、まちの日常の場面にアーティストたちがいるような活動こそが重要であり、都市を創造性に満ちた、これまでにない場所へと革新する原動力となるのです。

「アートアーバニズム」が、それぞれの場所の状況や課題に応じて展開されることで、従来行われてきた客観的で科学的な課題解決の方法に対し、共感や感性といった「価値創造」からのアプローチを加え、創造とイノベーションを引き起こすことを通じて「新しい都市の幸せ」を生み出したいと考えます。

その担い手は、都市におけるビジネスやライフスタイルに対して「美的感性」で向き合う、限られた領域に縛られない多彩なバックグラウンドを持った都市のプレーヤーです。

大丸有地区という、日本経済を牽引する大企業が集うグローバルなビジネスセンターから「アートアーバニズム」を提起することは、都市における従来の活動の限界や、日本的企業経営が直面している課題に対し、アートが投げかける「異なる視点」に共感して、まちづくりを通じてソリューションを提示していくことに他なりません。

「アートアーバニズム」の実践が、都市に新たなイノベーションを創出することを確信し、アーティストやクリエイティブな人々と共に有楽町を起点にアクションを始動します。

(2022年3月2日「アートアーバニズム宣言」)